



秋田市立豊岩中学校

切磋琢磨

校報 豊中だより

未来を拓く ～学ぶ力 豊かな心 強いからだ～



平成28年度

第2号

平成28年 5月31日



白華城址

校長 沢木 裕

5月11日、小学校で白華城址自然観察会に出かけるということで、私も同行させてもらいました。どんな城址なのか興味津々でした。

学校を出発し、環境省自然保護官の沓沢先生から野草などの説明を聞きながら、雨で滑りやすくなった道を登りました。

感心したのは杉林です。どの杉も丁寧に枝打ちがされ、手入れが行き届いていました。

坂を上り詰めると、本校の前庭くらいの広さの城址に着きました。城の痕跡はほとんどなく、まさに「兵（つわもの）どもが夢の跡」という感じでした。

それでも馬屋跡、家中屋敷跡などと書かれた標識があったので、この場所が馬屋だったのかとか、こっち側が大手だったのかなどと思いを馳せることはできました。

また、一番奥には城主を記した大きな石碑がありました。白華城は慶長の頃まで安東氏の居城として栄えていたということで、ここが豊岩地区繁栄の原点だったのだと改めて思いました。

白華城址のように、機会があれば豊岩地区の旧跡など、あちこちに行ってみようと考えています。



【城址にある石碑】

修学旅行が終わり、3年生の気持ちも一段落がつき、再び学校生活に集中していく時期となりました。

明日から6月です。運動部の生徒にとっては大きな目標である秋田市中学校総合体育大会が迫ってきました。わずか3週間ですが、文武両道を意識し、体調管理に気を付け、これまでに培ってきたことの全てを本番に出し切ってほしいと願っています。

最後になりましたが、PTA役員の皆様、27日の役員会へのご出席ありがとうございました。

6月の主な行事予定

2日(木) 教育を語る会

3日(金) 眼科検診

6日(月) 市中総体抽選会

部活動強化期間 ～17日

7日(火) 心電図検査

9日(木) 協賛金説明会

13日(月) 尿検査③

15日(水) 市中総体激励会・行進練習

18日(土) 市中総体(全校応援) ～20日

21日(火)・22日(水) 振替休業日

23日(木) 部活動テスト休み ～27日

耳鼻科検診

24日(金) 全校朝集会(総体報告会)

28日(火) 定期テスト①

29日(水) 吹奏楽・県総体激励会

30日(木) 生徒委員会

学ぶことと働くことをつなぐキャリア教育Ⅰ

「キャリア教育」という言葉もすっかり聞き慣れたものとなり、学校以外にも広く知られるようになってきました。

本校では今年度の重点実践事項の中に「キャリア教育の充実」を掲げています。本校の特長を生かし、小中9年間を見通したキャリア教育を考えています。

ところで、「キャリア教育」と「学力」はどのような関連があるのでしょうか。このことについて本校の取組なども含めながら、今後紹介していきたいと思えます。

- ・今後10年間で、現在ある700余りの職業の半分はなくなり、子供たちは現在存在しない職業に就くことになる。



アメリカの大学でこの衝撃的な発表がされたのは記憶に新しいところです。お子さんたちがこのような社会（中教審の「論点整理」では「予測困難な未来社会」）で生き抜くためにはどのような力が必要とされるでしょうか。10年後にこのことが現実になるかどうかは別問題として、社会や職場で将来求められるのは次のような力だと考えます。

知らないことでも興味関心をもち、予期しないことにも失敗を恐れず挑戦する力

この次は子どもたちにこうした力を身に付けさせたいと考えた背景について、中教審が昨年8月に示した「論点整理」などを参考にしながら紹介します。

☺☺ 豊岩中学校「思いやり宣言」☺☺

5月10日に出会いの集会が行われました。今年度の小中連携活動を紹介した後、小学校、中学校の代表がそれぞれの「思いやり宣言」を読み上げました。



【読み上げる生徒会長】

制定されてから4年、改めて紹介します。

【豊岩中学校思いやり宣言】

- 1 私たちは、笑顔で声をかけあい、お互いの気持ちを一つにし、明るい学校を築きます。
- 2 私たちは、相手の気持ちを考え、困っている人や悩んでいる人がいたら必ず手をさしのべ、見て見ぬふりは絶対にしません。
- 3 私たちは、進んであいさつを交わし、お互いに励まし合い、全校の絆を大切に生活します。

☀☀☀ 小中合同美化活動 ☀☀☀

5月13日に小中合同美化活動を実施しました。



【草はこの袋に】

思いやりや尊敬の気持ちをもって小中学生が協力しようということで、前庭の草むしりや体育館の清掃を行いました。天候に恵まれ、全員和気あいあいと活動していました。有意義な1時間でした。

♥♥♥ 子どもの命を守る ♥♥♥

熊本の大震災の報道を見るたびに、避難訓練の重要性を感じる中、5月24日に地震と津波を想定した小中合同の避難訓練を行いました。

5年前の東日本大震災で「釜石の奇跡」が起こったのは、地震や津波が必ずくると想定した避難訓練に力を入れていたからです。

今回の訓練を通して、改めて奇をてらった避難訓練などではなく、筋書き通りに行う訓練こそが重要なのではないかと思います。

避難するまでのシナリオを子どもに叩き込むことが、子どもたちの命を守り抜く最善の方法なのではないでしょうか。